

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しく願いいたします。

ある総合病院で「あなたが赤ちゃんを選んだのではありません。赤ちゃんがあなたを選んで生まれてきたのです」という壁紙が貼ってありました。

昨今の幼児虐待の痛ましい事件や育児放棄が社会問題となる中で張り出されたものなのでしょう。

親鸞聖人は私達を、お釈迦様の説かれた教えが衰退し、末法の世となり、五つの濁りの中に生きるものと指摘されておられます。五つの濁りとは人の心が邪悪になり、自分の悪に気付かず他人の正しさも認めず、何につけても怒りの心を起こし、自分の命も他人の命も粗末にし、ついには時代そのものが悪に満ちることです。まさに現代そのものです。

では、先ほどの壁紙の赤ちゃんを阿弥陀如来に置き換えたらどうなるでしょう。「あなたが阿弥陀如来を選んだのではありません。阿弥陀如来があなたを選んで生まれてきたのです」となります。

阿弥陀如来は私達が頼む、頼まないに関わらず、迷い続ける私達の姿を悲しまれ、「すべての生きとし生けるものを救い、浄土に収めとる」という願いを建てられ私達一人一人の前に現れてこられたのです。

阿弥陀如来のお目当ては「この私」なのです。しかし私達はそのことに気付かず、この五濁の世を私自身が作り出しているのです。

お念仏を申し、仏法にわが身を尋ね、仏の智慧に遭う。そのような一年を送りたいと願っております。